



第19回自治労青年女性中央大交流集会 北海道実行委員会ニュース

発行
【第2号】
2014年3月7日
第19回自治労青年女性中央大交流集会
北海道実行委員会

中央交参加者集約期限まであと21日！ しっかりと仲間を送り出そう！

中央交は、全国の自治体・公共の職場で働く青年・女性が結集し、地域を支える職場の悩みや課題意識を共有することを目的に2年に一度開催されています。

メインは「職種別分散会」です。全国3千人もの仲間が結

集するので、より自分の業務内容に合った仲間との分散会を経験できます。

同じ業務を担当している仲間だからこそ共有できる悩みや、全国の仲間の運動に学ぶことで、職場での「オカシイ」を要求につなげていく自信にもつながります。

今回で19回目となる中央交。これまでも北海道の多くの仲間が中央交への参加をとおして、単組での要求・交渉や各種取り組みの実践につなげてきています。

また、仲間を思う気持ちや青年部運動の大切さに気づくなど、参加者自身の「意識の変化と成長」にもつながっています。

全国の仲間と討論・交流し、次のたまたかへ継続した取り組みとしていくためにも、各地本・単組で「誰を送り出すのか」をしっかりと議論し、仲間を送り出しましょう！

北海道から、みんなで中央交へ結集しよう！



第18回中央交での北海道団の様子

中央交に職場の悩み・課題を持ち寄ろう！

昨年12月に開催した道本部青年部春闘討論集会では、慢性的な不払い残業、若年層への業務の偏りなど、切実な職場実態について報告されてきました。

生活するための仕事が生かす活を奪う仕事になってしまいう切実な「職場の悩み・課題」から、しっかりと単組での要求・運動につなげていくために、全道の仲間の熱い思いを中央交に持ち込もう！

期日：2014年7月11日(金)～13日(日)

会場：山梨県 山中湖畔

7月10日(木)に北海道団結団式

北海道からの目標は **100人!**

3月28日(水)参加者確定・報告

4月12日(木)職種変更最終届け出

☆まだ間に合う！

見せましょう！北海道の青年の力を！！

「賃金リーフ」の活用を！

私たちの賃金をさらに削減しようとする「給与制度の総合的な見直し」(詳細は前号に掲載)の問題があります。

「賃金リーフ」を活用した読み合わせ学習をきっかけに、問題意識を持ち「断固反対」の運動を進めていきましょう！

「だわろう「賃金」
だって、労働者だもの

自治労北海道実行委員会 2014年7月(19日版)



自治労北海道実行委員会 2014年7月(19日版)



第18回中央交の様子

～各地本春闘の取り組み～

胆振

胆振地本青年部 春闘討論集会



胆振地本：模擬団交の様子

胆振地本では1月25日(土)～26日(日)に、洞爺湖町で春闘討論集会を開催し、8単組・総支部48人の参加がありました。今集会では、職場の実態を討論する中から要求項目を考え、要求書を作成し、模擬団体交渉を行うという取り組みを実践しました。模擬団交では、保育士職場の慢性的な人員不足の問題や時間外勤務の増加など切実な思いを当局にぶつけてきました。参加した仲間からは「声をあげることの大切さと、自分たちがま

まって立ち上がることで改善できることがわかった」「相手を説得させるためには学習や根拠づけが不足していると感じたので単組に戻ってからアンケートを取って仲間の思いを知りたいと思った」など仲間の気づきや決意が出されました。

胆振地本では今集会で得られた仲間の思いからさらなる運動の前進にむけ活動していきます。

空知

グループトーク アセスンブリー

空知地本では2月15日(土)～16日(日)に、深川市でグループトークアセスンブリー～職場の悩みを持ち寄ろうを開催し、8単組・総支部30人の参加がありました。

今集会では、事前アンケートに基づいて分散会を行い、最後に分散会報告を行い、討論内容を全体で共有しています。

分散会報告ではコミュニケーションについて報告が多く出され、「職場内で雑談等のコミュ

ニケーションが不足している」「飲み会の時の圧力が辛い」といったことが報告されました。

また、参加者からは「自分の単組のことを心配してくれる人に出会い、非常に心強く思った」「悩みを共有し、いい経験になった」という声が出されています。

空知地本青年部として、今後も交流から組織強化をはかり、運動につなげていきたいと思えます。

日高

日高地本春闘討論集会

日高地本は1月25日～26日の2日間に、基本組織と合同で春闘討論集会を開催しました。



空知地本：分散会の様子



日高地本：集会の様子

青年部の参加者は8単組・総支部から、役員・地本幹事を含め計41人参加しました。

学習講演を聴いた後、「時間外勤務」と「年休取得」についての分散会を行いました。

分散会では「慣例で21時以降まで残業しないと時間外命令がつけられないという職場体質がある」「仕事に追われ、休んだら休んだ分仕事が増えるし、他の人にも迷惑がかかるから休みづらい」といった声が出されています。

日高地本青年部では、各単組・総支部の仲間とともに地方協別交流集会、中央大交流会へつなげていけるよう全体で議論してい